

国内外で活躍しているCCCのHUB登録クリエイターが、それぞれの世界をエッセー形式でレポートしています。

creatorに必要なimaginationとは？

CCCプログラムディレクター 神津 宏昭

「創造は想像から」と言っても言葉遊びではありません。創造すること<create>は想像<imagine>から始まる、つまり想像する力<imagination>が<creator>には欠かせないということです。デザインの大きな目的は問題解決することですが、その前に問題を発見できなければ前に進めず解決の手段も見つかりません。デザインの課題を学生に出すとまずつまづくのは、うまく問題を見出せないことです。現状を受け入れて不満がなければ問題は発生しません。いかに厳しい目、批判的で客観的な姿勢で物事を観察できるかが問われます。目の前に問題が転がっているか、または他者から問題が与えられている場合を除いて、問題を見つけるのは想像力によってです。健全な意味での疑問とか疑念、猜疑心などによる想像力です。観察などから見つけた問題を推察して答えを導き出し、そして解決するのも、もちろん想像力です。モノづくりにおいては出来上りを想像できる能力、使われているシーンを想像できる能力は必須です。それは使い手を慮る気持ちとか思いやりなどにも結び付きます。

想像することは他の動物にはない人間に与えられた能力とされています。動物も巣を作ったり、餌を取るために仕掛けを作ったりしますが、それは想像の産物ではなく本能による創造です。人間には想像力があるがため将来に不安を持つ、悩みを持つなどのネガティブな感情を持ってしまうという側面もあります。世の中の変化のスピードがますます早くなると10年後、20年後を想像することさえ難しくなってきます。アップル製品の素晴らしさは誰もが認めるところですが、製品がもたらす未来の世界を想像していたスティーブ・ジョブズは、社員に「製品ではなく夢を売れ」と言いました。ハードよりも、それらの製品によって実現可能な未来の世界を想像しろということだと思います。クリエイターたるもの、シビアな目による観察力と洞察力、そしてそこから導かれるより良い世界を想像=imagineすることを忘れたくないと思います。

(初出:クリエイティブNOW2021)

Hiroaki Kozu



神津 宏昭 (こうづ・ひろあき)

コースデザイン代表。1970年代に渡米、イリノイ工科大学院インスティテュート オブ デザイン修了後、ウィリアム スタンプ アソシエイツ他に勤務、80年代をニューヨークで過ごす。1992年に浜松にてコースデザイン設立。プロダクトデザインを中心にデザイン開発に携わる。昨今は茶道の経験を生かし茶道具や酒器、テーブルウェア、家具調度などの手工業的なデザインを地場産業の技によって実現することに注力している。ローカルの強みを最大限活用しグローバルな発信をしていきたいと考えている。



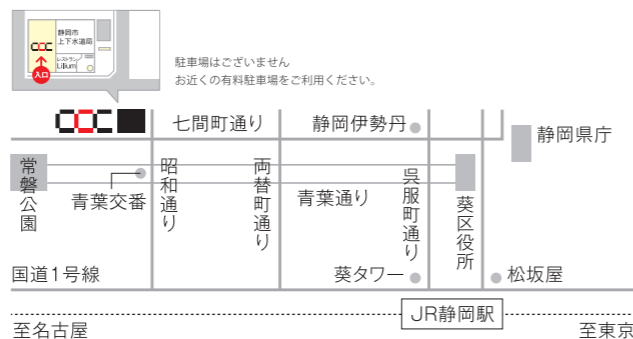
ニューヨーク、セントラルパークにあるジョン・レノンの記念碑 撮影:神津宏昭

お問い合わせは、お電話またはEメールにて
 静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター
 〒420-0035 静岡市葵区七間町15番地の1 TEL.054-205-4750 FAX.054-260-4550
 info@c-c-c.or.jp https://www.c-c-c.or.jp/
 開館時間/午前10時～午後9時
 休館日/毎週月曜日および12月29日～1月3日 ※月曜日が祝日の場合、翌日以降の最初の休日以外の日

クリエイティブを、育む、活かす、魅せる。



ご来館の際は公共交通機関をご利用ください。
 ■JR静岡駅より徒歩約14分 ■静鉄新静岡駅より徒歩約13分
 ■静鉄ジャストライン「東庁・静岡市役所葵区役所前」停留所より徒歩約8分、「七間町」停留所より徒歩約2分



Instagram



Homepage



VOL.27

DEC.2022



2F デジタルとアナログの融合で幻想的な未来空間を演出!
Cover Photo: 都築 透

10/16～11/20 未来茶会展

クリエイターと茶匠達による「未来茶会展」を開催!

「お茶とクリエイティブを掛け合わせて静岡茶の新しい価値を創ること」をコンセプトに、多分野に及ぶクリエイターと茶関連者、モノづくりメーカーが集結し、10/16～11/20にかけて展覧会と茶会を開催しました。1Fギャラリーではクリエイターと静岡の茶匠から成る6チームが「未来のお茶」をテーマに半年に及びコラボレーションして創り挙げた作品を展示。さらに、静岡のお茶をテーマに独自の展開をしているメディア、旅行代理店の活動をパネル展示で紹介し、モノづくりメーカー、リテラーの製品を展示しました。2Fギャラリーでは、「アナログとデジタルの間で」をテーマとしたLEDバーによるデジタル・インスタレーション(内田竜太さん)とアナログ的な紙の彫刻(三枝文子さん)が織り成す未来の茶空間を構成。そしてその中ではクリエイターと茶匠による「未来の茶会」が繰り広げられました。「クリエイターと茶匠がコラボレーションしておこなう茶会は初めて経験。新鮮でおもしろい!」と参加者は新しいスタイルの茶会に好反応を示してくださいました。

・コラボレーション展示



どこでも茶屋

茶文

茶の木茶会

光彩遠茶 こうさいほうちゃ

irodorū ふわり香るお茶会

YOGAする和ハーブ緑茶



未来茶会展 QRコード



10/29
パフォーマンスアーツ
ダイアログス

01

一輪車パフォーマー山本夏夢さんを囲み、
両立パフォーマーの可能性を語り合いました。

正社員として働きながらパフォーマーとして活躍する山本夏夢さんは、今夏に2ヶ月休職し、世界的に有名なパフォーマンス集団「シルク・ド・ソレイユ」のカナダ公演に出演されました。前半はその報告を発表し、後半は参加者と共に両立パフォーマーの創作環境向上への意見を交換。活動への理解や周知、ワークライフバランスの論点を中心に熱を帯びた対話が行われました。



11/26~12/25
切り絵がきらめく
クリスマスプロジェクションアート

02

切り絵×プログラミングが
光のアートになって登場！

CCCHUB登録クリエイター森藤めぐ美さんの切り絵がNOVITA 内田竜太さんのメディアアートにより輝きだします。11月には切り絵を使ったプログラミングワークショップを開催。子供たちが、森藤さんの切り絵の世界をプログラミングを使って楽しみました。水道局ピロティにて投影中！クリスマスの夜はきらめくプロジェクションアートをお楽しみください。



11/26~12/25
CCC公募展NEXTクリエイター・キャッチアップ2022 入選者展覧会 第三弾開催！

03

1F 煌ゆり「鳥の歌よりパンがいい」

古紙や羊毛フェルトを使い制作活動を行う煌ゆりさんの「鳥の歌よりパンがいい」では「食」をモチーフとした造形作品をはじめ、静岡を感じるインスタレーション作品を展示。季節感のある作品も多く並び、会期中はクリスマスにちなんだオーナメント作りやクリスマスカード作りのワークショップも行われ、来場者の皆さんには作家との交流を楽しんでいただきました。



煌ゆりさん

2F たいいりょう・山本薫夫「ふたつの景色」

詩人のたいいりょうさんと現代美術家の山本薫夫さんによる二人展「ふたつの景色」では、詩と絵という異なった分野のコラボレーション展示となりました。社会問題や生命について、詩人ならではの視点で綴った新作の詩10点と、言葉や景色をモチーフとした絵画作品を展示しました。会期中にはトークショーも行われ、詩の朗読と作品について解説をしていただきました。



たいいりょうさん



山本 薫夫 さん

CCCNEWSアーカイブを
ホームページに掲載中！

これまで2016年から発行してきたCCCNEWSをこちらのQRコードよりご覧いただけます！



CCC NEWS

1 JAN. → 3 MAR. スケジュール

- JAGDA新人賞展..... 1/8(日)~2/5(日)
- 親子の絆を作る！落合英男の「あそび教室」..... 2/11(土)
- 第65回静岡県私学生徒作品展 美術部門..... 2/24(金)~3/5(日)
- 未来デザインプロジェクト2022 新商品発表展示会..... 3/11(土)~3/26(日)

※予定は変更になる場合がございます。詳しいスケジュール、内容は順次HPでご案内します。

アワー フェスティバル シズオカ 2023

OUR FESTIVAL
SHIZUOKA 2023

まちにあふれているパフォーマンス・フェスティバル

プロとアマチュア、表現者と観客の境界を
軽やかに越えていく非日常をつくるのではない、
私たちの生活へとつながる誰もが参加できるパフォーマンス・フェスティバル

日時:2023年3月11日(土)、12日(日)

場所:静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター、ARTIEアートガーデン、MIRAIERIAN コミュニティホール七間町、呉服町歩行者天国、人宿町やどりぎ座、ギャラリー青い麦、青葉シンボルロード、葵スクエア



OUR FESTIVAL



「OUR FESTIVAL SHIZUOKA 2023」(以下アワーフェスと表記)は、昨年度からリニューアルして新たに始まったCCCのパフォーマンス・フェスティバル。今回はその2回目となります。静岡の中心市街地を舞台とする「アワーフェス」はリニューアルを機に市民パフォーマーがより参加しやすいスタイルを進めています。静岡市のような地方都市では仕事をしながらパフォーマンス活動を行っている方が多いことに注目し、そうした両立パフォーマーの発表機会を創り一緒に盛り上がりたいと考えています。その象徴的なプログラムが「アワーフェス解放区！」です。オープンステージを3カ所設置して、さまざまな演目に対応できるようにしています。屋外と屋内のステージ、小劇場とタイプが全く違うので、きっとそれぞれに特徴のある舞台が楽しめるはず。もちろん見応えのあるプロの舞台も用意しています。注目して頂きたいのは前回に引き続き紹介する「現代サーカス」。物語性のある詩情豊かなパフォーマンスをご期待ください。ほかに呉服町通りをテーマパークのようにパレードするダンスなど含め10のプログラムが2日間に渡って繰り広げられます。

今後の展示・イベント情報

1/8~2/5
JAGDA新人賞展
2022静岡

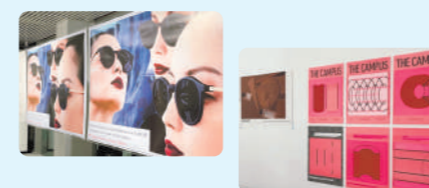


JAGDA展HP

2/24~3/5
第65回静岡県私学生徒作品展
美術部門

3/11~3/26
未来デザインプロジェクト2022
新商品発表展示会

(公社)日本グラフィックデザイン協会(JAGDA)が毎年発行する[Graphic Design in Japan2022]に出品したグラフィックデザイナーの新人賞候補137名(39歳以下)の中から選ばれた佐々木拓、竹田美織、前原翔一の3氏による個性あふれる展覧会。デザイナー必見!1/21(土)にはトークショーも開催します!



静岡県内の私立中学・高校に通う生徒たちの作品展。授業や部活動の中で制作した水彩画やデッサンといった平面作品やオリジナル絵本、立体作品なども展示します!お楽しみに。



マッチング事業として2022年度の約1年間、6組の企業とクリエイターがコラボレーションして商品やサービスを開発するプロジェクトを運営してきました。その成果物の展示と同時に企画~デザイン~施策~完成品という開発のプロセスを展示します。各社の思考のプロセスを見ることが出来る展示です!



地元クリエイターのデータベース「CCCクリエイターズHUB」新登録クリエイター紹介!



CCC HUB

地元クリエイターのデータベース「CCCクリエイターズHUB」あなたもHUB登録しませんか?登録無料!

小池 千彩美 さん

アート
グラフィックデザイン
ディスプレイ
メディアアート



静岡県に在住の現代アート作家。2020年京都から地元へ戻り、静岡を中心に活動しています。富士市の紙バンド工場で廃棄予定だった紙バンドを活かし、「ふじ」紙のアートミュージアム」や「ARATA GALLERY」で、作品の展示を行いました。静岡の魅力や、他県や海外に発信する企画など、プロモーションの依頼を受け付けています。また、豊卸を営んでいた建物をリノベーションし、アートスペースを提供することも企画しております。ご興味のある方は、是非ご連絡ください。

煌 ゆり さん

アート
イラスト
グラフィックデザイン



紙の町 富士市に生まれ、幼少期から絵を描き工作をして遊んでいた。紙は私の旧友です。貴重な資源に対して何かできないかと思い、紙の作品を制作する際は古紙を使用しています。紙・羊毛フェルトを使用した立体作品と、イラスト・キャラクターデザイン等の平面作品を制作しています。

宮井 喜久子 さん

染色
手織り



表現の中心は「水」です。私の中に水脈があり、時々その水が枯渇しているのではないかと心配し、草原を分け入り湖があるか、水は満々と溜えられているか覗きに行きます。水辺には心のありようや来し方行く末なども表れていると感じます。創作で一番大切にしているのは「内なる声」でしょうか。それがなめらかに表現できるよう努めたいと願っています。